

野生鳥獣による被害の防止と 共生をめざして



中国四国地域の農村は、野生鳥獣の生息地から近い中山間地域が約7割を占めており、農業生産活動を行う上で、鳥獣による農作物などの被害は大きな問題となっています。

鳥獣被害は、収益性の低下や精神的負担のほか、農業者の生産意欲の低下に伴う耕作放棄などにより、美しい農山村の維持・存続にも影響を与えることから、被害防止対策への取組みの強化が大きな課題となっています。

被害防止対策の取組み

しっかり囲って作物を守る！



フェンスの設置

長所：管理労力が少ない

短所：費用が高い、設置労力が大きい

○ 鳥獣被害対策は昔から行われています

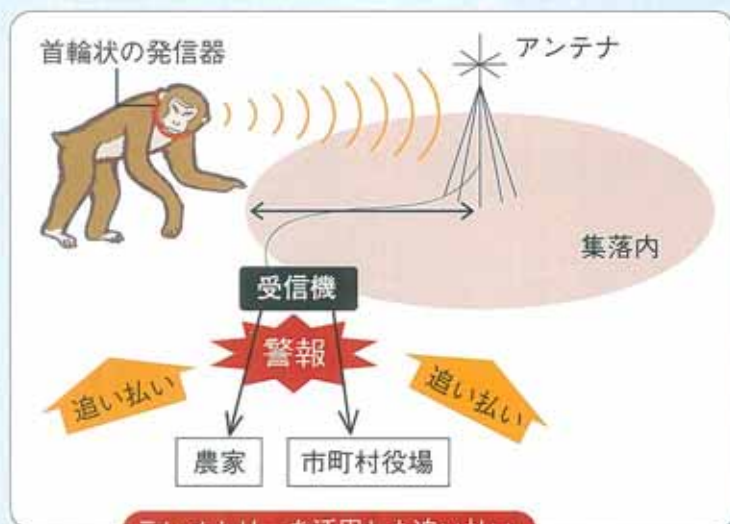
古い時代から耕作地と山林原野の境界付近に、イノシシやシカなどから農作物を守るために、木や竹、石、土盛りなどで造られた、「シン垣」というものがあります。

現在でも江戸時代に造られた遺構が全国各地に多く残っており、古くから野生動物との攻防が繰り広げられていたことがうかがえます。

(奈良大学 高橋春成 教授提供)



守りから攻めへ！



テレメトリーを活用した追い払い

長所：柵などの設置の軽減

短所：受発信機等の経費が高い

電撃で撃退！



電気柵の設置

長所：設置や撤去が簡単

短所：下草刈などの管理が必要

家畜で鳥獣被害防止！



耕作放棄地等への放牧

長所：雑草の除去と鳥獣への威圧効果

短所：放牧家畜の管理運営

○ 「鳥獣害対策の広場」で幅広い情報を発信しています！

中国四国農政局ではホームページ

「鳥獣害対策の広場」において、

・各種防除対策の事例

・補助事業

・研究者の紹介

・鳥獣の利活用

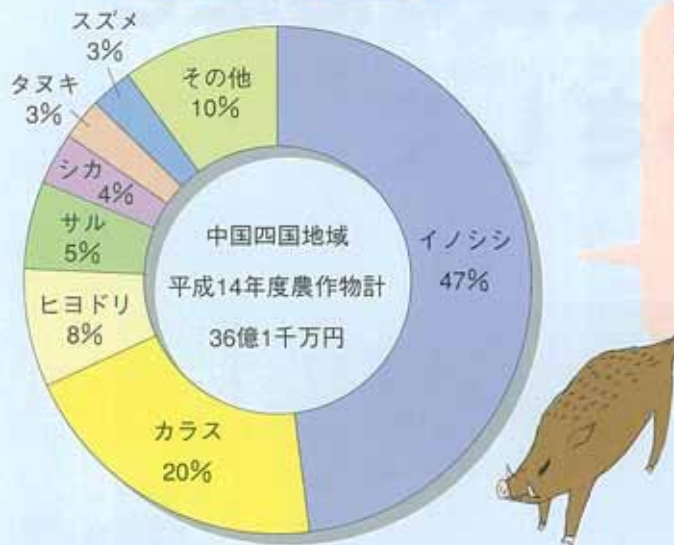
などの関連する幅広い情報を発信しています。

<http://www.chushi.maff.go.jp/chojyuu/>



こんなにひどい！ 野生鳥獣による農作物への被害

鳥獣別被害金額割合



Q どんな動物が農作物を荒らすの？

A イノシシによる被害が深刻です！

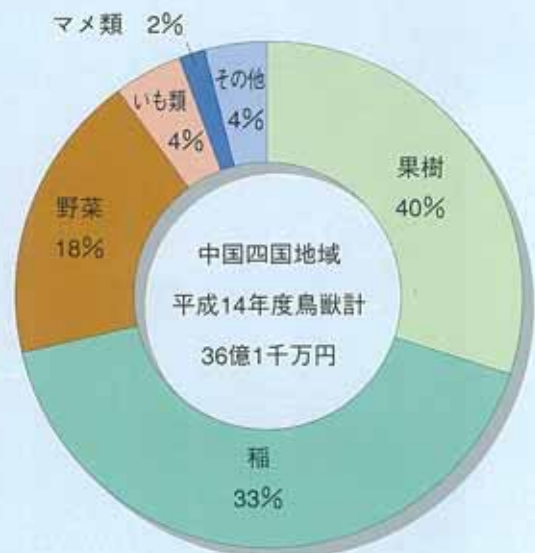
中国四国地域における農作物の被害金額は36億円を超え、全国の17%を占めています。鳥獣別の被害金額の割合は、イノシシが一番大きく約半分を占めており、続いてカラス20%、ヒヨドリ8%などとなっています。

Q 被害を受けているのはどんな作物？

A 果樹や稲の被害が多くを占めています！

作物別の被害割合は、果樹が一番多く40%を占めており、続いて稲が33%、野菜が18%などとなっています。

作物別被害金額割合



中国四国地域における鳥獣被害の推移（農作物）



Q 被害の推移はどうなっているの？

A 被害は依然高い水準です！

被害金額は果樹などの被害拡大から増加傾向にあります。

なお、被害面積は平成8年度以降、被害防止対策の効果などから減少傾向にあるものの、依然1万ヘクタールを上回る被害が発生しています。

総合的な対策で被害防除のレベルアップと 野生鳥獣との共生を！

効果的・効率的な被害防除を行うためには、鳥獣保護法に基づく「特定鳥獣保護管理計画」の下で、被害防止対策、個体数管理、生息環境管理の取組みを総合的に推進することが重要です。



【主な事例】

- ・トタンや金属フェンス
- ・網やネット
- ・電気柵
- ・家畜の放牧
- ・追払い

被害防止対策 (柵などで農作物を防護する)



イノシシによる水稲被害の様子

総合的被害防除対策

生息環境の管理 (野生鳥獣の生息地の環境を整備)

【主な事例】

- ・森などの環境整備
- ・収穫後の不用農作物などの除去や鋤き込み
- ・山際の茂みなどの刈り払い
- ・鳥獣が嫌がる作物の栽培や被害に遭いにくい集落設計

個体数の管理 (鳥獣の捕獲など)

【主な事例】

- ・鳥獣の生息実態調査
- ・有害鳥獣駆除
- ・狩猟

農作物の被害軽減と野生鳥獣との共生

【問い合わせ先】 中国四国農政局 生産経営流通部 農産課

〒700-8532 岡山県岡山市下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎
電話086-224-4511(代表)(内線2429) FAX086-232-7225

※鳥獣害対策は各市町村役場及び各県の地方出先機関などにも窓口を設置していますので、お問い合わせ下さい。